

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
「人にやさしい町づくり」(38時間)												
【ねらい】	○自分が生活する町の福祉に目を向け、福祉のよさに気付き関わろうとする。 ○様々な体験活動や実践を通して立場の異なるものへの接し方や大切さに気付く。 ○見学や体験を通して、自分ができることを進んで考えて、実践する。											
【構成概念】	Ⅱ 相互性 Ⅳ 公平性 Ⅴ 連携性 Ⅵ 責任制											
【重視する能力・態度】	④コミュニケーションを行う力			⑤他者と協力する態度			⑥つながりを尊重する態度			⑦進んで参加する態度		
【評価規準】	・施設見学や福祉実践教室で、自分の考えを伝えたり、他者の意見を聞いたりすることができる。			・相手の立場になって考えて行動し、友達と協力し合って実践しようとする。			・福祉と自分とのつながり・関わりに関心を持ち、すすんで学び、交流しようとする。			・見学や体験を通して、人にやさしい町作りのために、自分ができることは何かを考え、実践しようとする。		
単元名「福祉ってなんだろう」(20時間)			単元名「福祉ボランティアについて学ぼう～福祉実践教室」(6時間)			単元名「自分たちにできることをしよう」(24時間)			単元名「お年寄りから学ぼう」(20時間)			
【ねらい】 自分が生活する身近な地域の人々との関わりに関心を向け、主な公共施設などの場所と働きなどを観察・調査し、地域のよさに気付き、愛着をもつ。 【学習活動】 ①施設の見学に出かけたとき、出会った人に挨拶をしたり、話しかけたりする。 ②<u>見学から、施設の設備や工夫について、気付いたことを話し合う。</u> ③<u>ワークシートを使って、福祉について話し合う。</u> ④パンフレットを使って、総合福祉会館、公民館の見学で調べたことを、みんなに知らせたいことを中心にガイドマップにまとめる。 ⑤施設見学をまとめたガイドマップを使って、学年・クラスで発表する。 ⑥お年寄りから、踊り「甚目寺カッポレ」を覚えてもらい、運動会でいっしょに踊る。 ⑦教えてもらった、施設の人やお年寄りにお礼の手紙を書く。 【地域人材・関係機関】 総合福祉会館、総合体育館、公民館(職員の方々)			【ねらい】 車椅子、手話、点字などの体験を通して、福祉に対する興味、関心をもつ。 【学習活動】 ①車椅子、手話、点字など福祉に携わる人々の役割やはたらきについて知る。 ②テーマについて、福祉実践教室で体験学習する。 ③それぞれの体験や体が不自由な人についての質問を考える。 ④福祉実践教室で学んだことを、ノートなどにまとめ、今後の学習の資料にする。 ⑤<u>異なる体験学習をした友達と情報交換をする。</u> ⑥体験学習で学んだことを友達同士で練習する。 ⑦福祉実践教室の講師にお礼の手紙を書く。 ⑧福祉実践教室で学んだことをもとに、町の中にあるバリアフリーをさがし発表する。 ⑨車いすを作っている人に作るときに気をつけていることを聞く。 【地域人材・関係機関】 福祉実践教室講師 県建設部出前講座講師			【ねらい】 福祉に関連した公共施設、福祉に携わる人々の役割やはたらきを知ったり、車椅子、手話、点字などの体験をしたりして学んだことを生かして、自分たちにできることを実践しようとする。 【学習活動】 ①体験したり、学んだりしたことから自分の学習テーマを見つける。 ②福祉実践教室で学んだことをもとに本やインターネットなどの資料を用いて調べ学習を進める。 ③自分たちの身の周りのバリアフリーについて調べる。 ④調べたことを、模造紙や原稿用紙にまとめる。 ⑤調べたことをポスターセッションや劇化したもの、ペープサートなどに仕上げ、甚小タイム発表会で発信する。 ⑥<u>調べたことをもとにやさしい町づくりのために自分たちにできることを話し合う。</u> ⑦体験や調べたことをもとに、デイサービスセンターを訪ね、お年寄りや体が不自由な方々と交流をもつ。 【地域人材・関係機関】 デイサービスセンター			【ねらい】 昔の道具や、それらを使っていたころのくらしの様子を調べ、体験活動を通して過去の生活における人々の知恵や工夫、知育の人々の生活の変化に関心をもつ。 昔使った道具や遊びや学校生活について、お年寄りにインタビューをする。 【学習活動】 ①<u>昔の生活について知る方法を話しあう。</u> ②ゲストティーチャーを招いて、昔の生活について話を聞く。 ③インタビューやゲストティーチャーから聞いたことをもとに、昔使った道具・遊び・学校生活について、インターネットや図書館で詳しく調べる。 ④グループで調べて分かったことをくらしの変化が分かるように、新聞や模造紙にまとめ、クラス、学年・保護者への発表の準備をする。 ⑤グループごとに、昔使った道具・遊び・学校生活について調べたことを発表する。 ⑤学習を通して、ものを大切にしたり、家族のつながりを大切にしてきたことを感じ、今のくらしを見つめなおす。 【地域人材・関係機関】 ゲストティーチャー			